



行政

ソフトバンク株式会社 派遣
主事 齊藤 零

◎ 経歴（採用7年目）

2023年度～ソフトバンク株式会社 派遣
（企画振興部 デジタル政策推進課 付け）

2020年度～観光文化スポーツ部 観光振興課

2017年度～総務部 総合県税事務所 課税第二課

～ 取材メモ ～



東京(竹芝)にある本社ビルには、東京湾を一望できる社員用ラウンジが。ソフトバンクの社名を背景に撮影させていただきました。

ソフトバンク創業者・孫正義氏の尊敬する、坂本龍馬の銅像も！



Q 秋田県職員を志望した理由を教えてください。

県外の大学に進学したことで初めて秋田という場所を客観的に見るできるようになり、さまざまな課題を持つ秋田で何か自分にできることはないか、考えたのがきっかけです。県職員の、幅広い分野の業務を経験しながら地域に貢献できる点に魅力を感じ、志望しました。

Q 現在、派遣先ではどんな仕事をしていますか？

所属の公共事業推進本部は、自治体職員の働き方改革や幅広い分野の地域課題解決を支援しています。様々な商材を有する中で、お客様へのヒアリング内容に応じて最適な提案、導入後のフォローなどを行います。私は、他本部と連携したウェブマーケティングや生成AI活用に関する資料作成・お客様へのご説明、北関東自治体のEBPM推進に向けた商材提案などを担当しています。

Q 派遣を希望した理由を教えてください。

観光振興課在籍時に、多くの企業の方とともに仕事をする機会がありました。その際に、行政に足りないのは民間のスピード感や成果へのこだわりだと感じるようになり、どのような考え・スタイルで働き、成果を出すまでのプロセスを踏んでいるのか、自分自身で体感したいと思いました。

Q 派遣先で印象に残ったことや、良かったと思ったことはありますか？

意思決定やアクションに起こすまでが速かったり、常に新しいチャレンジをする雰囲気・環境があったりします。また、在宅ワークやサテライトオフィスの利用、フレックスタイム制、フリーアドレスなど、様々な働き方ができる点も魅力だと思います。配属先部署は主に自治体職員がお客様なのでこれまでとは逆の立場になりつつも、民間企業として地域課題解決に向けて取り組めることも新鮮に感じています。

Q 派遣先での経験は、今後の県庁業務へどのように生かせそうだと思いますか？

チャレンジ精神やスピード感、業務のマネジメント、民間企業が自治体に対しどう考えアプローチしているかという視点などは、県で施策立案、実行していく中でも役立てられると思います。また、県職員も働き方が大きく変わりつつありますが、自分の体験をもとに、より良くなるような働きかけなどもできればいいなと思っています。

Q これからチャレンジしたいことや今後の目標を教えてください。

県職員の働き方がより良くなれば県民の方のためになる効果的な施策立案、実行に注力できたり、様々なことに挑戦する土壌ができたりと思っているので、まずはそこを目指したいと考えています。また、働き方が変わること県職員への堅いイメージをなくし、柔軟性のあるチャレンジングな職場として、人材確保の面にも寄与できればと思っています。

＼ 県職員を目指している方へメッセージ！ ／

民間企業より柔軟性が低いと言われる公務員ですが、民間であっても経営方針、組織としての戦略に沿って動くことが求められる場面があります。一方、公務員は”地域のために”という意思に沿って働ける、貴重な役割を担う立場なのだと思っていて改めて実感しています。”秋田県のために何かしたい”という思いが少しでもある方は、ぜひ受験してほしいと思います。